

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

# 山本 陽子 活動ニュース

VOL. 13 2016年6月12日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342

いよいよ選挙！  
大河原としたか  
必勝！

山科区生活相談所  
山科区西野大手先町8-8  
☎595-8342



## 韓国の女性議員と懇談

韓国全国地方議員ネットワーク・地方自治発展所から、女性議員9名、職員2名が来市され、京都市会の女性議員7名と懇談しました。日本共産党京都市会議員団からは西野さち子議員、加藤あい議員と一緒に私も参加し、女性議員の地位向上、活動について交流しました。

OECD諸国のなかで、日本(9.5%)について二番目の女性国会議員の数が少ないのが韓国(16.3%)です。韓国では女性団体の運動により一定割合の候補者を女性とするクォーター制度が2000年から導入されています。女性候補を公認した政党に政党助成金が増額される制度もあります。しかしながら、それでも議会のなかでは女性の地位は低く、要職にはつけないなどの問題があると聞いて驚きました。そのため、会派を超えて女性議員のネットワークをつくっているそうです。

日本共産党の京都市会議員団は、18人中8人が女性です。これに対して、自民党の京都市会議員団には女性は1人もいません。政党によっては、男女共同参画に歴然とした差があることをお話ししました。また、日本共産党は北東アジアでの平和な国際関係をつくるのがとても大切だと思っている。日本は先の大戦の加害国として、従軍慰安婦の問題を含め、その事実から目を背けることなく対応していくことが大事だという認識を伝えました。



## 5月議会が閉幕

特別予算委員会に2議案が付託され、そのうち所属委員会で子どもの貧困実態調査関連予算が提案されました。子どもの貧困調査について、市当局が「子どもの貧困率を下げるのが目的ではない」と答弁したことに対して、「京都市の貧困率を明らかにし対策をとるべき」と強く求めました。

常任委員会に付託された議案のうち所属のまちづくり委員会で楽只市営住宅改修請負工事契約について審議されました。当局の答弁で改良住宅については戸数を減らす姿勢を示したので、自治体が責任を持つ公営住宅供給の大幅な後退につながるものであり、住民合意ははかられていないことを指摘しました。なお、委員会付託を省略して最終本会議で即決された焼却灰溶融施設プラント工事に係る損害賠償等請求訴訟に要する経費の補正、及び控訴の提起に関する議案には賛成し、討論で京都市の責任を明らかにしました。



## 「落ちたの私だ！」 保育所・待機児童問題 報告懇談会

日本共産党京都市会議員団と同京都府委員会は、ハートピア京都で「保育所・待機児童問題 報告懇談会」を開催し、約60人が参加しました(5月17日)。

保護者の方からは、入所の可否がポイント制となり、保護者が入所のために競い合わなければならないということ、自営業の方の入所が困難になっていること、京都市は国基準よりも保育料が低く抑えられているとはいっても、負担は重く、今年度からの値上げで数千円上がったかたもいることを報告されました。また、民間の保育園の園長さんからは、保育士の給与を保障するプール制の仕組みについて、以前は8000万円の人件費が補助されていたのが、今は3000万円しかないという制度の改悪の実態をお話されました。現場の保育士さんからは、やりがいはあるが今の給与では貯金もできない。自分の人生に希望のある処遇をと訴えられました。

日本共産党京都市会議員団としても、保育園・待機児童問題について京都市に申し入れをしています。

## 山科女性のつどい130人!



民謡合唱集団『篝』の懐かしい民謡の歌声から始まった女性のつどい。130人を超える女性が参議院選挙での日本共産党の躍進、大河原としたか予定候補の勝利への決意を固めあいました。山科女性後援会・略してYJKのパフォーマンスでは「パナマ文書」のコントに笑いあり、そして奥深い日本共産党の歴史も学びました。大河原としたか予定候補の訴えは力強く、倉林明子参議院議員の報告はみんなが元気になりました。大河原さんを国会へ！さっそく宣伝しましょう！と嬉しいお誘いもありました。

## ママチャリ 子育て日記



小学二年生ともなると、学校がお休みの日にお友達と遊ぶ約束をするようになり、まだ近所より遠いところに子どもだけで遊びに行ったりすることがありません……。

一年生の終わり頃、日曜日に遊ぶ約束の時間に集合場所に行ったらけれど、二回もすっぽかされて……ということがありました。二回目は自転車に乗って行ってしまったので、どこまで冒険させてもよいものか？ 悩むところでした。

そのことを、小学校のクラス懇談会でまわりのお母さんたちにお話しすると「危ないと思うけど勝手に遊び回っている」「まだまだ安心できないので、お友達と遊ぶのは家の周りだけにしている」「自転車で遊びに行くことはまだ許していない」などいろいろと参考になる意見が出されました。そのうえで、うちはどうするか……。

自転車はまだ親と一緒にやるとダメだけど、子どもの自立や冒険心を認めてやりたいと思うので、学区内なら気をつけて送り出そうと思います。一人目の子どもの自立の第一歩は親としてもドキドキです。

